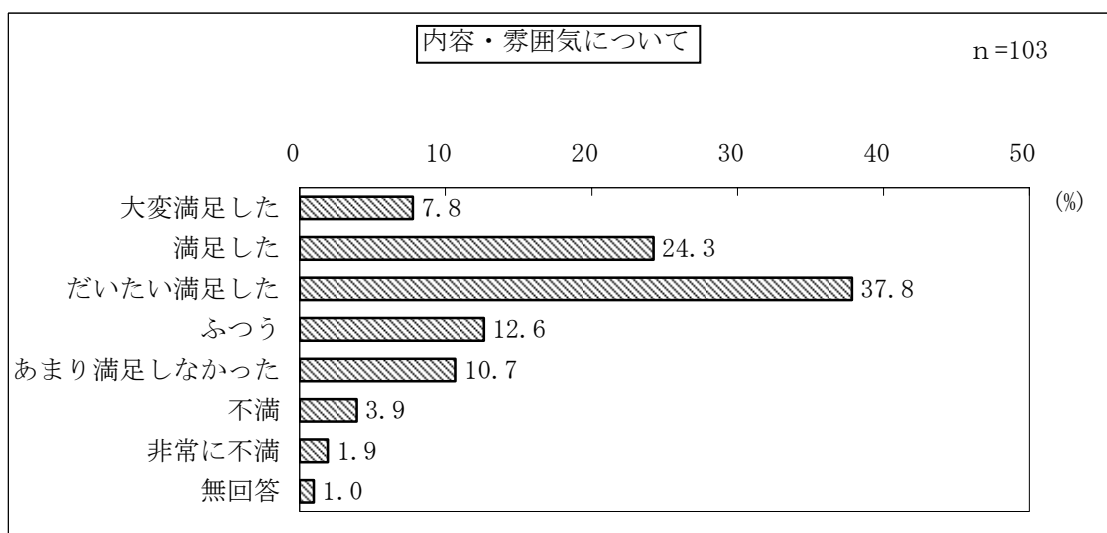


## 公開フォーラム（東京）「食品への放射線照射について」アンケート結果

1. 本日の公開フォーラム「食品への放射線照射について」の内容、雰囲気について、あなたのお考えに最も近いものを番号に○印をお付け下さい。



### その理由について

#### <1> 大変満足した

- 具体的に放射線等について知りえたから。(40～50代 性別不明)
- 食品照射がどういうもので、どういう議論の経過があったかについて理解できた。安全性、今後の課題についてもよく理解出来た。(20～30代 男性)
- WHOや世界先進国でOKとなっているのが、日本で認められないのがおかしい。(40～50代 男性)
- 食品への放射線照射について全然知識がなかったので、くわしく分かり満足した。(60代以上 男性)
- 納得できる話。(60代以上 性別不明)
- もっと詳しく専門的な内容になるのかと不安でしたが、わかりやすい言葉で途中専門用語は解説を入れるなど、親切な進め方で大変満足しました。(40～50代 性別不明)

#### <2> 満足した

- 消費者の立場から質問し、わかりやすく説明してもらった。(年代・性別不明)
- わかりやすく説明され、構成もよかった。(20～30代 女性)
- 食品照射についての知見を深めることができた。(60代以上 男性)
- 新しい情報を得ることができた。(60代以上 男性)
- 大変丁寧に説明されており、よく分かった。(40～50代 性別不明)

- だいたい理解出来た。(60代以上 男性)
- 情報収集できたので。(40～50代 男性)
- 食品の放射線照射の概略を要領よく説明されたから。(60代以上 性別不明)
- 非常に詳細に対応し、説明があった。(40～50代 性別不明)
- 日常生活に密接した内容だったため。(20～30代 性別不明)
- それぞれの疑問、質問などに対して詳細に説明された。(双方向性指向)ただし、一般の人がその説明をじゅうぶん理解できたかどうかは疑問が残る。(早口で聞きにくい方もあった。)東嶋さんの役割がとてもよかった。(60代以上 女性)
- 不毛な発言ややり取りがなかった。(40～50代 性別不明)
- 食品照射を原子力委員会がすすめている背景がよく分かった。(30～40代 女性)
- 表題のことについてはあまり知りませんでした。香辛料は「薬味」的な役割とも考えていましたので、本日は良かったと思いました。特に安全性については関心があります。(60代以上 性別不明)
- 基本的なところから入り、全体像がよく分かった。司会の方の進め方も親しみ易くわかりやすかった。ただ、事務局に振られた回答は最後に行なった方がよかったのでは。(40～50代 性別不明)
- 一般生活の中で放射線照射に注目する事が少ない。今まであまりにも無関心であった。(40～50代 男性)
- 消費者教育として重要な取り組みだと考えるから。(20～30代 男性)

### <3> だいたい満足した

- パネルディスカッション、ビデオなど、一方的な説明でなく面白かった。(40～50代 男性)
- 食品への放射線の必要性についてよく理解できるように、判り易く説明されていた。(40～50代 男性)
- 不足していた知識を若干補強できた。(60代以上 性別不明)
- 目的が香辛料の許可にあるため、その様にフォーラムが進行していってしまう。許可ありきではいけないと思う。(60代以上 男性)
- 小生が専門家のため。(60代以上 男性)
- 司会者(東嶋さん)の議論の進め方が興味をひいた。マイクの音声が届きにくい個所があった。(60代以上 性別不明)
- 食品の放射線照射処理について、現状を大体知ることができた。(60代以上 男性)
- 後半のQA内容が10年1日のごとく理解が進んでおらず、あいかわらずの質問をとりあげた議論が進んだ。(60代以上 男性)
- 安全性に問題無い点が強調されている。それ自体は良いが、まだ分からない部分がどの部分か等の説明が少ない。それを話してこそリスクコミュニケーションではないか。(40～50代 性別不明)

- ・第1部は時間が限定されているので、焦点を1～2点（用途、現象等）にして討論すべきである。
  - ・第1部は香辛料だけでなく、他の食品（肉類等）にも話題を広げるべきである。
  - ・第2部の質問、特に安全性については良く理解できた。
  - ・その他として、ビデオによる説明も判り易く良かった。（60代以上 男性）
- 一方的な部分も少なく、良かったと感じる。（40～50代 性別不明）
- 概要は概ね理解出来たと思う。ただし、今回のフォーラムは、スパイス等への照射がなかなか進まないと思われる状況のブレイクスルーには繋がらないように思われる。（40～50代 男性）
- 巾広い取り上げ方をし、疑問に出来るだけ応えようとしていた点。（40～50代 男性）
- 前回夏の会をふまえて、シンポジウム対策が練られていると思いました。（40～50代 性別不明）
- 反対意見にどのようなものがあるのか知りたかった。将来の夢についても語って欲しかった。（40～50代 性別不明）
- 通り一遍の説明ではなく、ポイントに答える形にシフトした内容になっていたと思う。（40～50代 性別不明）
- 分かりやすい。（40～50代 男性）
- 概ね理解出来たから。（年代・性別不明）
- 少し基本的な事項に詳しく説明しすぎでは。（60代以上 男性）
- 配布された資料が充実。（40～50代 男性）
- 自分の知識の不足で、理解できないところがあった。（60代以上 男性）
- 高度の殺菌とお聞きして、成分が大丈夫なのかなあと思いました。（40～50代 女性）

#### <4> ふつう

- 質疑応答をもっと長くするべき。（60代以上 性別不明）
- 啓蒙的、教育的内容。（60代以上 男性）
- 組み立てに官製の臭いが強い。（40～50代 男性）
- 今まで見聞きしたことのない範囲内であった。（60代以上 性別不明）
- 放射線照射が取り入れられた歴史的必然性。何故禁止されていたのかのクリアな説明。（年代・性別不明）
- 何故必要で、何故安全かは理解出来たが、多くの消費者に知ってもらう事はどうか、大きな問題と感じる。（20～30代 男性）
- 「照射」の基礎知識、問題点等について理解出来た。（40～50代 男性）
- 反対しているグループとの議論がなかったので、反対の根拠が分からなかった。（60代以上 性別不明）

#### <5> あまり満足しなかった

- 放射線照射が認められることありきで話が進められている。認められれば食中毒が減るかのごとくのイントロにも問題を感じる。(20～30代 女性)
- 前半が長く、後半が短い。(40～50代 男性)
- 照射が抱える課題についても聞きたかった。(40～50代 性別不明)
- 食品照射を推進している人達ばかりの話で、反対意見の人の話や、何故法的認可されないかの説明がなく、推進するためには今後どのような活動が必要かについてもはなしがない。(60代以上 性別不明)
- ストーリー性が高すぎた。(40～50代 性別不明)
- 常識的な知識範囲を出ていない。(60代以上 女性)
- 前半の説明が長かった。ディスカッションを聞きたかった。(40～50代 女性)
- パネラーが全て照射推進派であった。(20～30代 女性)

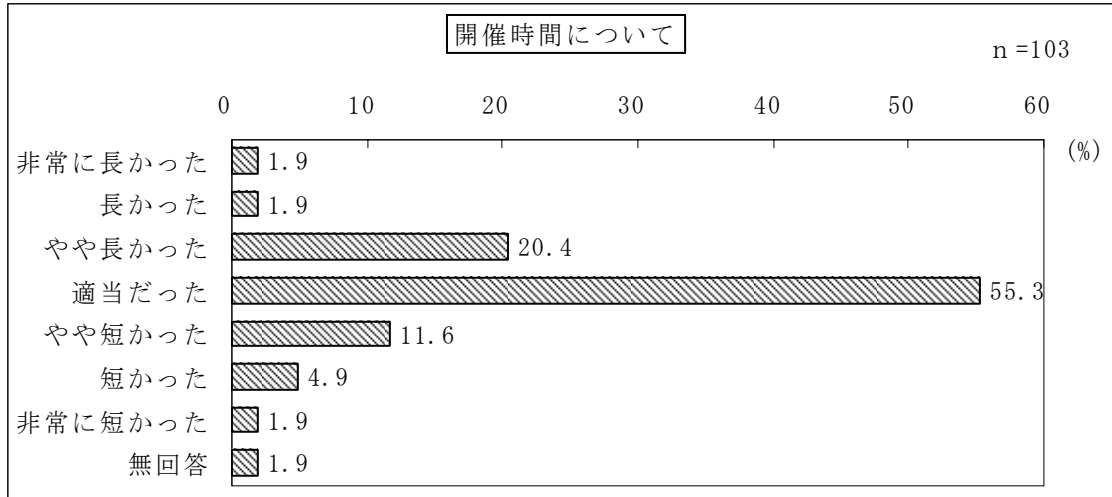
#### <6> 不満

- 食品照射の概要だけであり、食品照射が良いのか悪いのか、悪い理由、良い理由が明確にされていない。(50代 男性)
- パネルディスカッションと言うより、シナリオどおりの進行です。それぞれのパネリストの考え方が聞かれなかった。開催者側の一方的な考えを押し付けられている感じがした。(40～50代 女性)
- ほんとうに必要なものなのか？ 一般消費者のみならず、食品業界の意見が必要では？ また、フォーラムの主体が見えなかった。(40～50代 性別不明)
- 仲間うちだけの、なれ合いの話し合いに終わっているから。(60代以上 男性)

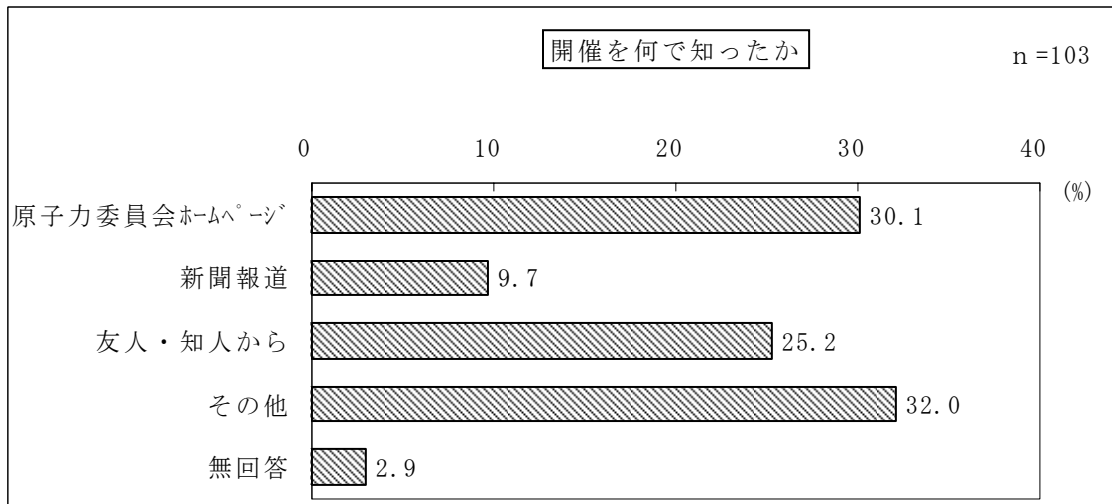
#### <7> 非常に不満

- 出席者の多くが、原子力委の審議会の委員であれば、推進側の意見しか出されないのはあたり前で、何も改めて説明するまでもないことであった。やるなら、反対論も含めて議論すべきである。(40～50代 男性)
- (案)の段階で全国から出されていた質問、疑問に対する回答がなされていない。報告書にも反映されていない。不誠実だ。(60代以上 女性)

2. 本日の公開フォーラム「食品への放射線照射について」の開催時間（3時間）について、あなたのお考えに最も近いものの番号に○印をお付け下さい。

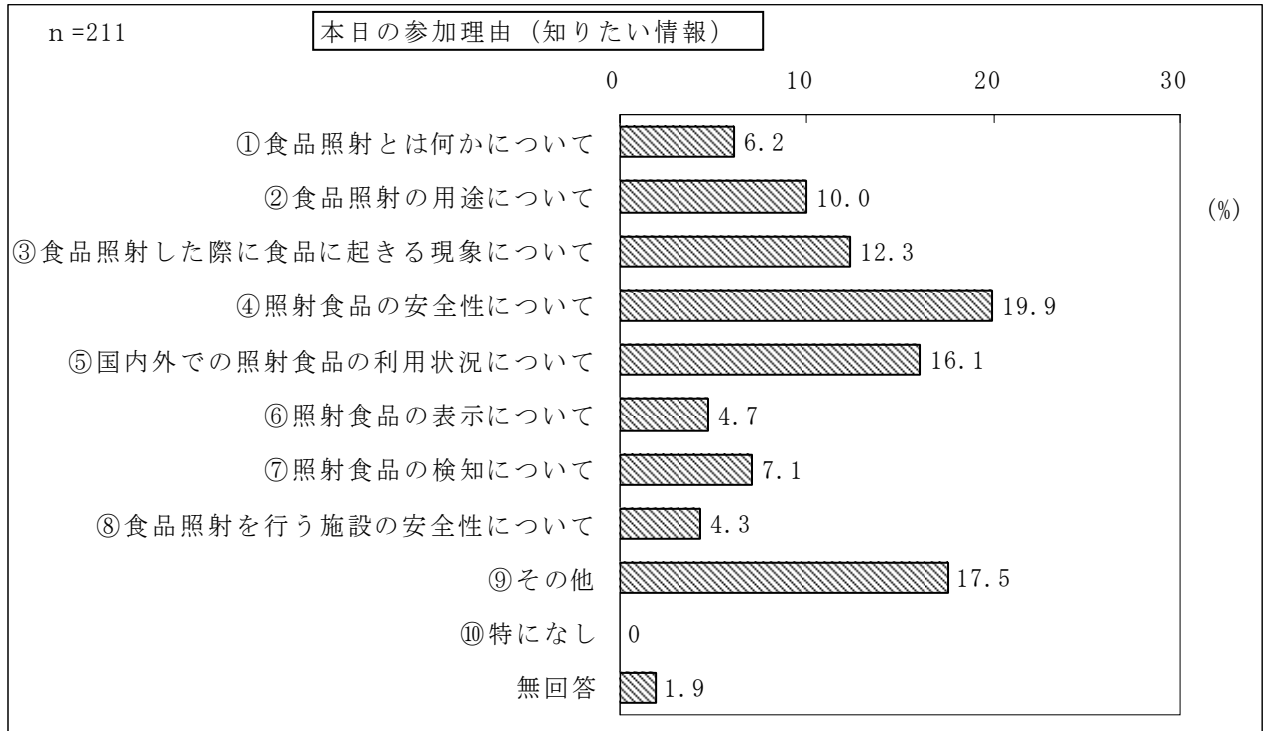


3. 本日の公開フォーラム「食品への放射線照射について」の開催を何でお知りになりましたか。



3. 下記の問A～Cについて、①から⑩の選択肢の中から、あなたの考えに近い項目の番号を解答欄にそれぞれお書き下さい。(複数回答可)

A. 本日の公開フォーラムに、どのような情報をお知りになりたいと考えて参加されましたか。

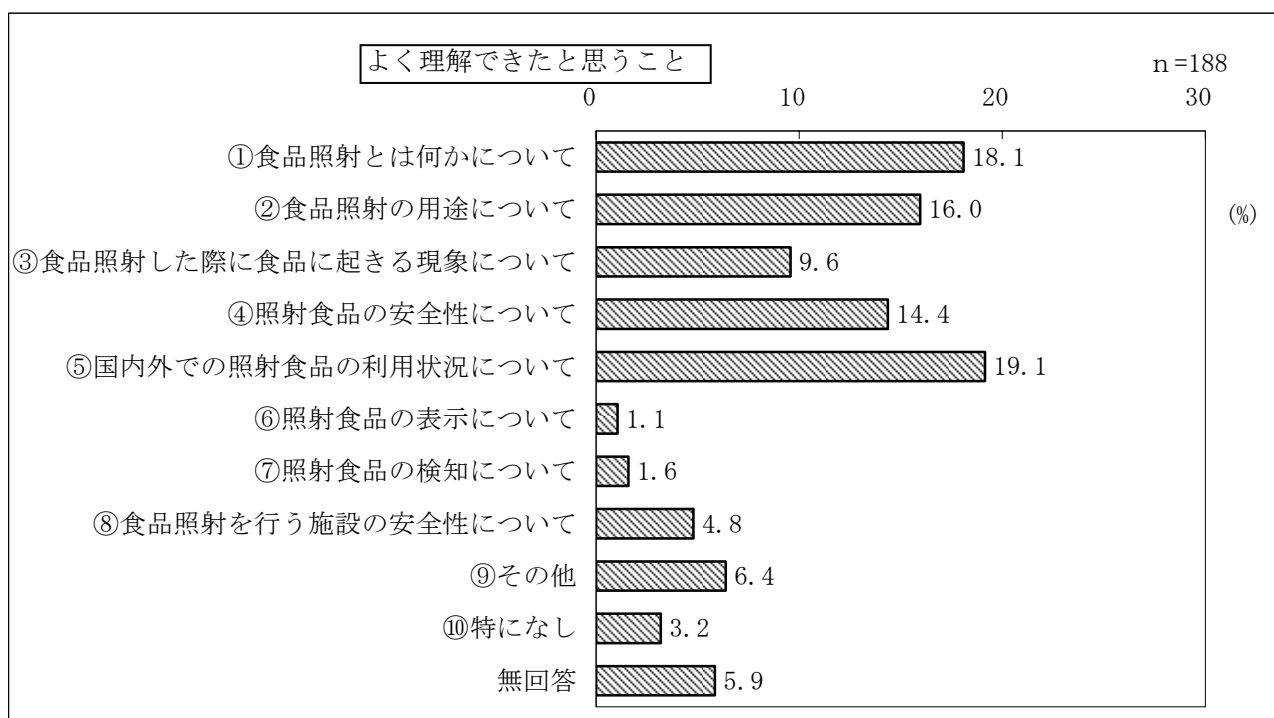


<その他のご意見>

- 放射線のメカニズム
- 一般の人達の反応
- 国民の一般的な意見
- 参加された方の意見
- 実用化に向けての動き
- 実現できない理由
- 世間の反応
- 照射の基礎知識
- 日本の現状
- 現在の進捗状況
- 諸外国での線量
- 消費者がもつ食品照射のマイナスイメージのもとについて
- 一般消費者の抱く照射イメージ、行政の対応
- どうやって実施に向けてクリアすべき課題を処理するか
- これからの進め方
- 世間の反応
- 消費者へのPR方法
- 今後のタイムスケジュール
- 今後の動向 (香辛料への利用など)
- 国内の許可の進捗状況について
- 現在の流れについて
- どのような議論があるのかを知りたくて参加
- 食品照射が認可される目的、時期
- 現在の照射食品に対する考え方
- コミュニケーション方法の実施方法

- 原子力産業に携わる者として、一般の方が放射線照射に対してどのように思われているかを知りたかった。
- いわゆる消費者や専門家のみなさんが、食品照射をどううけとめているか。
- 実際に、照射を必要としている現場のニーズ

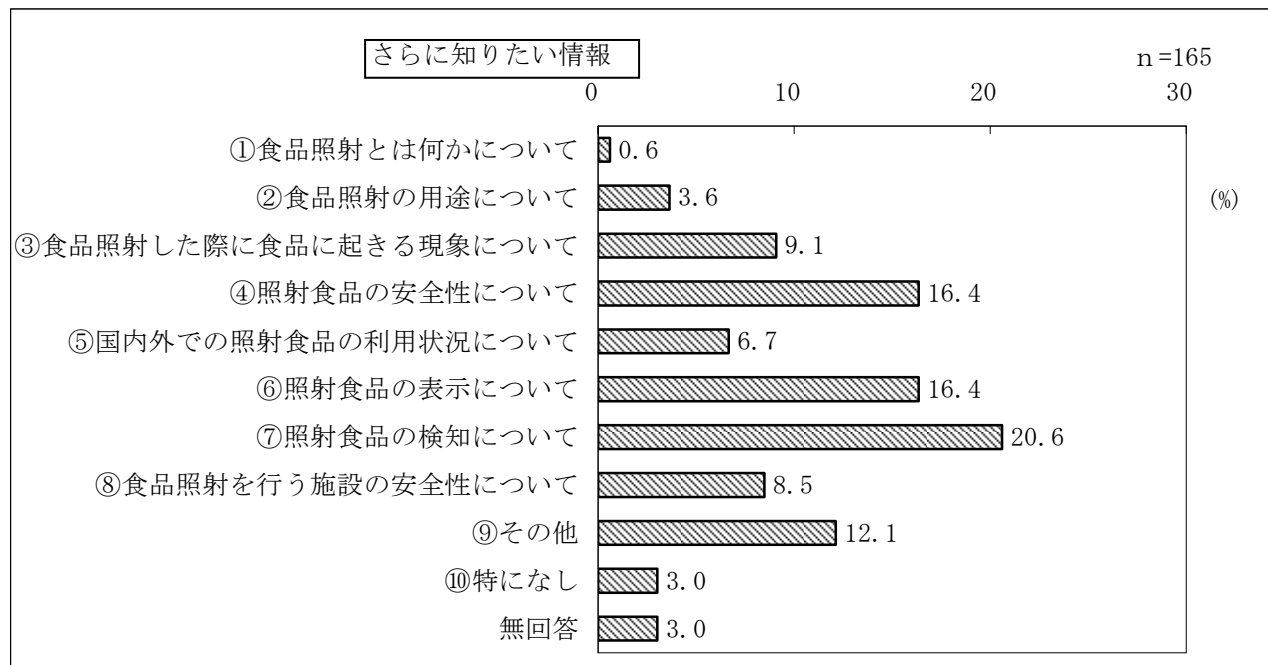
**B. 本日の公開フォーラムで、良く理解できたと思うことは何ですか。**



**<その他のご意見>**

- 人体への影響
- 世間の反応
- 久保田さんの説明
- Codex や世界の情勢、及び臭化メチルやマレイン酸ヒドラジドの禁止
- 照射食品は全てわからないものだけだということがよく分かった。
- いわゆる消費者や専門家のみなさんが、食品照射をどううけとめているか。
- 自然放射線の域を脱していない。食品への放射線照射が諸外国でどの放射線源でどの程度の放射線量であるのか。
- 冷凍食品等購入の際に改めて良く読んでからと思いました。
- 臭化メチル、ジャガイモの芽止め農薬の禁止
- 国が真面目に取り組み出したこと
- 専門家が安全と認識しているらしいこと

C. 本日の公開フォーラムに参加された後で、食品への放射線照射（食品照射）や放射線照射された食品（照射食品）について、どのような情報をさらにお知りになりたいですか。



<その他のご意見>

- どの様に菌が死んでいくのか
- 反対な人達の根拠
- 必要性と経済性
- 照射生成物についての毒性評価
- 消費者の受け入れ
- 反対の理由、賛成の理由
- 他の殺菌法との比較
- いつから実施するか
- 国内の確認状況
- 法改正など国のうごき
- 実用化に向けての動き
- 検知法
- 今後違う食品への検討
- 不安に思う方のパーセントとその内容
- 一般消費者の抱く照射イメージ、行政の対応
- 実際に、照射を必要としている現場のニーズ
- 世界の動向のデータが 2004 と古い。もっと最新情報を。
- 医療と同じように注意して食品を購入したいので、説明も十分に記載してほしい。
- 今後の具体的な進行について



5. 本日の公開フォーラム「食品への放射線照射について」で、あなたにとって興味深かった意見や事項、その他お気づきの点などがあればお書きください。

#### <公開フォーラムについて>

- 久保寺先生の原子の話、わかりやすく理解できました。公開フォーラムをウイークディに開催されると参加者が限定される。一般国民の声を聞くなら、土・日開催が良いと思います。ご一考を。(60代以上 性別不明)
- 質問に答える形で討論するのは良かった。(60代以上 男性)
- 食品行政関係者の参加者(パネリスト)を望む。(60代以上 男性)
- パネラーの方々は学識が深い人々であるのは理解できるが、単なる知識の披瀝にしかすぎないように思う。パネラーの構成にもっと立場の旗色鮮明な人々、例にとるならば、導入に大反対の立場の方と、許可を申請した業界の人そのものに登壇ねがいたい。現実の利害を語り合い、議論を深化させなければこのような催しを何度持っても社会の理解を得られないのではないか。私は加熱して放射線加工したスパイスが手に入るならば食してみたい。機能劣化したスパイスハーブを敢えて使用したいとは思わない。安全でおいしいものへの飽くなき追求です。進歩に目をつぶることなく、選択肢をひとつ増やしましょう。議論のうえで最後に選ぶのは消費者なのですから。(60代以上 男性)
- ・K-40 4000 Bqからの $\alpha$ 線は、4000本/秒でなく、400本/秒ではないのか?  
・照射設備の安全確保について、放射線障害防止法に基づく定期的な確認が行なわれることを述べるべきであった。(質問に対して)  
・予定時刻はきちんと守るべき。(40~50代 男性)
- シナリオどおりの進行でなく、出たところ勝負の討論が見たい。(20~30代 男性)
- 各先生方の説明は、全体的に判りやすく説明されていたので良かった。1部より2部を重点的に時間を掛けて行なった方が良かった。(60代以上 男性)
- パネリストの方々は、賛成意見を多く持っている方ばかりで、ある意味反対の意見、危険性を感じている人の意見も聞きたかった。(40~50代 男性)
- 事前に質問を取っていたのであれば、最後の方のように質問に答える形で解説する方法での時間を長く取って欲しかった。デいているシナリオなら、ビデオやパンフでも充分です。特に気になったのが、食品照射フォーラムなのに、スパイスの話が大変多く、今後スパイス照射が許可されても大丈夫なことを知らせる会のようでした。主催者が開催時間を延ばすのは言語道断です! 参加者を質問させたわけではないのに!! (40~50代 女性)
- 参考資料を引用しての説明が多かったですが、会場のスクリーンに当該部分を映写した方が分かり易かったのではないのでしょうか。(40~50代 男性)
- 田島教授の喋り方では、何を云っているのか聞き取りにくい。よく分からない。(40~50代 性別不明)
- 国内の食品の安全だけ議論されているが、もう少し、輸入されている食品についても認めていいのではないかと思った。食の確保は本当に大事。(40~50代 男性)

- 教条的であるのは、リスコミとしてはどうか。(40～50代 男性)
- 質問者がマイクを持って直接質問された内容を聞いて、どんなことに興味をもっているのか、何が心配なのかが分かってよかったです。(40～50代 性別不明)
- ①上映したVTRは完成版ですか？ 何分ですか？ 理解するにはVTRは主要な役割を果たすと思うが、何か中途半端な感じがした。
- ②沖縄のウリミバエに放射線を使用することに対し、社会への説明をどう行い、島民は理解したのでしょうか？ それが今後の社会受容へのヒントにつながるのではないか。  
(40～50代 性別不明)
- ・時間配分はきちんとしてほしい。後半の安全性などは非常に短時間でわかりづらかった。
  - ・50キログレイでも安全だという発言には驚いた。本当だろうか。
  - ・聞きたい事を話すべきという多田さんの発言はその通りなので、そうして欲しい。
  - ・確率論で食べ物の安全性を論じて欲しくない。
  - ・専門家だけ、プロへの信頼感がなくなっている原因はどこにあるのか考えて欲しい。
  - ・一部の人の言葉が聞き取りづらかった。専門用語なので全く分からなかった。
 (40～50代 男性)
- 香辛料とジャガイモの話ばかりだったが、輸入食品で大量を占め、海外で照射されているものについて説明が欲しい。日本で食品照射が認可された後、どのような照射食品が多く輸入されるかを予測したい。(60代以上 性別不明)
- 照射するメリットとデメリットがもっと知りたかった。(40～50代 性別不明)
- 久保寺先生、多田先生のご発言は判り易く、聞き易く、理解し易かったので良かった。  
(20～30代 男性)
- 消費パネラーの方々の意見が興味深かった。(40～50代 男性)
- 林さんの説明が最もよく分かりました。厚労省の専門家の方にもパネラーになっていただき、説明して欲しかった。質問紙に沿った説明は良い会議の持ち方だった。ただ、時間をもう少し多くかけて下さると良かったです。(40～50代以上 女性)
- コーディネーターの科学的知識に少し問題があるように思いました。又、はじめの段階で、日常生活の話が長すぎて、折角の時間が勿体なかった。あまり指名しないで、どんどん手をあげての討論に持って行った方が良いと思いました。(60代以上 女性)
- 最後の久保寺先生、多田先生の細胞のお話は興味がありました。(60代以上 性別不明)
- 後半の質問への解答で、具体的な話が伺えてよかったです。もっと前半部分を短く、後半部を長くにとって欲しかった。食品以外の物では、既に放射線がいろいろな面に使われ、実績があることをもっと広く知らせて、放射線の利用をすすめるべきと思う。放射線量と何にどんな影響がでるのか、もっと多く伺いたかった。(40～50代 女性)
- 安心、安全という食品(イメージ)に放射線照射が重要なポジションにある事が判った。今後もこのフォーラムは継続してもらいたい。(40～50代 男性)
- こうした機会をもっともって、放射線についての知伝を普及すべきだ。(60代以上 男性)
- 今日のようなフォーラムであれば、開催事態無意味。真に、消費者との相互理解を深めよ

うと考えているのであれば、メリット情報のみでなく、デメリット情報についても、最大もらさず開示して議論すべき。失望した。旅費が無駄になった。怒りを感じる。食品照射について、長年市民の立場で研究し発言している方が1人もパネリストとして入っていない。自分たちに都合の良い、言い換えれば、御用パネリストだけで占められていた。問題の回答を積み残さないで下さい。私達参加者に失礼です。(60代以上 女性)

- リスクと量の概念(市川さん)に同感です。(40~50代 性別不明)
- 会場：上野公園というのは新鮮であった。文化の園で、文化・文明のフォーラムを拝聴でき、ありがとうございます。今後：説明フォーラムを各地で開催していただきたい。(60代以上 男性)
- フォーラムでは「社会受容性」の重要さが指摘されていたが、このような馴れ合いのフォーラムを実施しても受容性は向上しないだろう。むしろ、やらせや予算の無駄使いが問題になったタウンミーティングと同様のものとして、反発を受けるだけだ。(60代以上 男性)

#### <情報提供・収集のあり方について>

- 薬剤処理から照射への流れを作る必要がある。マスメディアに取り上げてもらう工夫が望まれる。(60代以上 男性)
- 利用データが古すぎる。最新データを見たい。(40~50代 男性)
- 初歩的な質問ですが、外国で食品照射実用化品目は、日本に輸入されているのですか？もっとPRしてほしい。(60代以上 男性)
- ニーズの調査とあったが、まさにそれが必要。(40~50代 性別不明)
- 食品照射によるカビ毒に対する効果はどうか？(ナツメグなど)。ネットでも構いませんので是非知りたいです。(年代・性別不明)
- 「本当にニーズがあるのに、業界が消費者を気にし過ぎて声を上げない」というお話がありました。このような会がもっと開かれ、大勢の人が理解する事ができれば、業界も声を上げるようになると思います。世界規模での食糧確保には絶対に必要な技術であると思います。(40~50代 男性)
- 照射食品の検査方法について。照射食品が広く流通しているので、照射の有無を検知する方法を国として定めるのか否か。日本公定法についての意見(国のお考え)をお示し下さい。(40~50代 女性)
- 照射されて食品の安全をPRし、食品への放射線照射が一般的にみとめられていくと良いと思う。(40~50代 性別不明)

#### <その他>

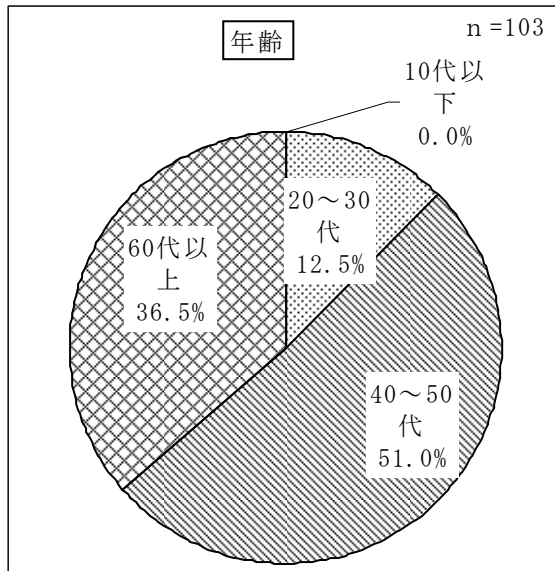
- 照射食品の検知について=公的な評価法の早期認定、広告が望ましい。現在世界各国にも多様なコードがあるだろうが、日本での最良な方法の選択が早期に欲しい。また、一般へのPRに力を入れて欲しい。(40~50代 男性)

- 化学処理が不可能になってきたこと。(60代以上 性別不明)
- ・自然放射線について
  - ・コバルトの遮蔽方法について、4 m厚の水を用いるということ（水で遮蔽できるということ。）(40～50代 男性)
- 外国産ミツバチの駆除に利用するとよい。(60代以上 性別不明)
- 国民は放射線照射食品への要望はほとんどない。(60代以上 性別不明)
- じゃがいもの芽止めにおいて、農薬が使用されていたこと。(40～50代 性別不明)
- 農薬を使わなくなり、芽から出る毒によって病気が発生していること。芽の部分を大きくエグることをわすれてしまっていますよね。(60代以上 男性)
- 例えばジャガイモについて言えば、芽が出てシワシワになったものでも、芽を深く取り、今日も調理してきた。それを娘は見ていた。昔から冬の終わりはこうであった。合理性ばかりがいいことなのか？ (40～50代 女性)
- 香辛料の一般向けと加工食品向けの規格が異なる点。これまでは香りや色が劣ると協調されてきたように思うが、今回は本当の必要性が理解できた。(40～50代 女性)
- 冷蔵庫による保存、流通の発展により、昔のように「保存」がどのレベルまで必要なのか？ 後進国のように、保冷・流通の悪いところでは放射線照射は必要だと思うが。少なくとも日本では必要ないのでは？ (40～50代 性別不明)
- 放射線と放射能の違いがまだわからない。(40～50代 男性)
- 放射線というと目に見えず、しかも、ジャガイモの発芽を止めるという大きな仕事をするために、逆に安全性には問題ないのか不安になるが、農薬を使用する方がよっぽど体に悪影響を及ぼすような気がする。(20～30代 性別不明)
- 推進具体策のアイデア募集をしてはいかがか。(40～50代 男性)
- 日本のじゃがいもの何割が照射しているのかわからない。(40～50代 性別不明)
- 「リスクに理解の確認が必要」「プロが信頼されていない」「表示の活用、消費者も参加して欲しい」(40～50代 性別不明)
- スパイスについては、EUやCodexで検知法が確立されているのに、何故日本ではいつまでたっても公定法が決められないのか、国（厚生労働省）の説明を聞きたい。(40～50代 性別不明)
- 何故照射しなければならないのか。(40～50代 男性)
- 保存方法（加熱）（乾燥）（凍結）等を利用し、出来る限り照射食品を増加しないこと。（他国を模倣する必要なし）食品の出廻り過ぎについても一考を要す。現在、我が国の食材（野菜その他）は有り余っている。これらの（生産者と消費者）balanceを考えれば、保存の為の照射は他諸国に習わなくても、出来る限り照射を拡大しない事が重要。疾病が発生しない程度の微生物は生体には有用。微生物が全て有害とは限らない。また、諸外国の食文化と我が国の食文化の違いがあり、全て諸外国を模倣しなくて良い。食品利用、保存法、調理法を他の方法を考えるべき。実験動物のえさの例がありましたが、実験動物の生命cycleは極めて短いので、ヒトとの比較は単純に考えてはならない。照射するなら、（他国

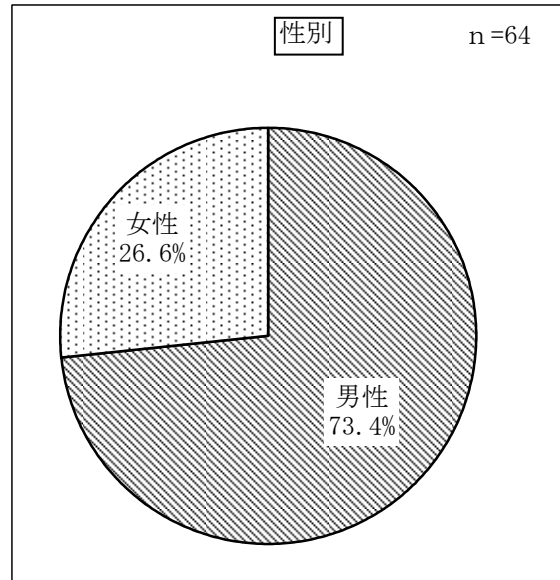
- から入ったものでも) 表示を! (60代以上 女性)
- すでにWHOで1970, 1980年代に問題ないとしている点と、海外で多くの品目が許可しているのに、日本の認識は大変低く、遅れていると感じる。厚労省の怠慢ではないのか。既に照射食品が輸入されている可能性についてもっと調べるべきである。検知などはあまり意味はない。医療用品で言われているパラメトリックリリース、ドジメトリックリリースを考えるべき。国際的なハーモナイズを考えるべき。韓国でも27品目も認めている現実を見るべき。(40~50代 男性)
  - 我が国での食品への放射線照射はじゃがいもだけで、以後だんだん増えるように感じた。(60代以上 男性)
  - 他の殺菌方法と照射との相違、比較。(60代以上 女性)
  - 乾燥状態の食品がなぜ耐熱性が高いか、よく分かりました。(40~50代 性別不明)
  - プラントの構造。(40~50代 男性)
  - 加熱、加圧による殺菌、滅菌と多くの違いがないことが良くわかった。(40~50代 性別不明)
  - 照射認可の反対派の論点を聞きたい。(40~50代 男性)
  - 通常の加熱等の食品処理と質的に同じものだというのを、改めて知り感銘を受けました。今後、食品の放射線照射が仮に進むとしたら、どんな分野かと、考えようとも思いました。(60代以上 男性)
  - ・無知・無関心が食糧資源を無駄にしている。  
・有機資源、無機資源とも有効に利用すべきである。  
・大豆やトウモロコシを燃料に利用している状況であり、資源、食糧の利用に疑問を持っている。(60代以上 男性)
  - 表示して欲しい食品について理解していない事がわかった。(40~50代 女性)

6. 差し支えなければお答え下さい。

(1) 年齢



(2) 性別



以上